

これまでに切開併用バルーン拡張術の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

神戸市立西神戸医療センター消化器内科では「食道癌術後狭窄に対する切開併用バルーン拡張術の有用性に関する検討」という臨床研究を行っております。この研究は、食道狭窄に対する粘膜切開併用のバルーン拡張術の有用性と安全性を調べることを主な目的としています。そのため、過去に切開併用バルーン拡張術の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- この調査研究は神戸市立西神戸医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。
調査対象期間：西暦2023年10月01日 ～ 西暦2024年9月30日まで
データ収集期間：倫理委員会承認後 ～ 西暦2024年12月31日まで
- 今回の調査研究の対象は上記調査対象期間に切開併用バルーン拡張術の治療を受けた患者さんのカルテ、内視鏡画像です。
- 過去のデータ（年齢、性別、手術術式、経口摂取の程度、内視鏡検査結果など）を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は神戸市立西神戸医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、神戸市立西神戸医療センター消化器内科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、西暦2024年12月31日までに、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

神戸市立西神戸医療センター 消化器内科

研究責任者：熊谷 健

Tel. 078-997-2200 (代)